

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 2年 1月 28日

事業所名 放課後等デイサービス 愛かな

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			
	2 職員の配置数は適切である	○			
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○			玄関の所にスロープを付ける予定。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		適宜、相談している。	
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		課題を朝礼で確認している。	日々意見を取り入れ改善していきたい。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		昨年度から実施し、ホームページ上で公開している	
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		実施計画中。 役員会を3月に予定している。
8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		研修報告や資料の回覧をしている。	職員全員が情報を共有できるように研修に参加し、資質向上をめざしたい。	
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○			
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			参考にしている。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	○		好きな活動がきるよう希望を聞いている。	
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			定期的に会議を行い、より良いプログラムの充実につなげていきたい。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○			保護者からの要望も取り入れ、計画をし、長期休暇の活動は、短時間ではできない課題に取り組み支援している
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		個々人の課題や状況に応じた計画作成に努める。	
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		朝礼で確認する。	支援開始前の朝礼でミーティング、申し送りを密に行っている。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○			振り返りと問題点や課題については記録に残したり朝礼で伝え、共有できるようにしている。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		個別ファイルを利用する。	
18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○				
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	○				

関係機関 や保護者 との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○			面談時の関わりだけでなく送迎時のコミュニケーションと連絡帳による情報の共有を行っている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○			かかりつけ医や相談支援員と連携をとっている。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○			保育所や発達支援事業所、保育園等と連携を取っている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○			該当児はいないが、利用者の希望を聞きながら事業所等と情報交換をしている。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○			専門的な事は相談支援専門員に相談を助言を受けるようにしている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○			地域の学童等を訪問し交流した。図書館(おはなし会)も定期的に利用している。もっと実施していきたい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○		職員の資質向上のため、さまざまな研修に参加している。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			送迎の際、日々の子どもの状況を報告している。
保護者 への説明 責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		○		個別の相談対応以外での支援を今後作っていきたい。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			共有はしているが助言や支援につながっていないかわからない。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○			父母の会の活動として、郷土のおやつ作りや料理を一緒に作ったり、BBQ等の食事会を実施し、交流を深めている。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		苦情マニュアルに基づき対応していく。	不安を解決できるよう常に家庭訪問や面談で悩み事を話し合えるようサポートしていく。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○			利用者が少ないので2ヶ月に1回発行している。
	35	個人情報に十分注意している	○			
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			それぞれの特性に応じた連絡手段の検討や説明を心掛けている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		行事の際は案内をする。	季節の行事にお招きしたり、近所の方々と触れ合えるイベントを計画し一緒に楽しんでいる。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○			今後保護者会等で周知できる場を設けていきたい。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			2ヶ月に1回避難訓練計画に基づいてを実施している。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		昨年度の研修を受け報告会を行った。	令和元年度も研修に参加し、報告会の中で、新しいスタッフと共有していきたい。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○		現在身体拘束が必要な利用者がいないこともあり、組織として決定していない。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		保護者からのアセスメントで理解し把握している。	かかりつけ医や相談支援員の指導を受けながら対応している。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		作成はしているが、口答での共通確認になっている。	小さなことでも記載し再発防止にしていきたい。